

製品名: CD85d ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08473**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	66kDa

抗原情報

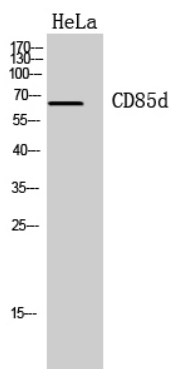
遺伝子名	LILRB2
別名	LILRB2; ILT4; LIR2; MIR10; Leukocyte immunoglobulin-like receptor subfamily B member 2; LIR-2; Leukocyte immunoglobulin-like receptor 2; CD85 antigen-like family member D; Immunoglobulin-like transcript 4; ILT-4; Monocyte/macrophage immunoglobulin-like receptor 10; MIR-10; CD85d
遺伝子 ID	10288.0
SwissProt ID	Q8N423
免疫原	抗血清はヒト LILRB2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

背景

この遺伝子は、白血球免疫グロブリン様受容体 (LIR) ファミリーのメンバーであり、染色体領域 19q13.4 の遺伝子クラスターに存在します。コードされるタンパク質は、2つまたは4つの細胞外免疫グロブリンドメイン、1つの膜貫通ドメイン、および2つまたは4つの細胞質免疫受容体チロシン阻害モチーフ (ITIM) を含む LIR 受容体のサブファミリー B クラスに属します。この受容体は免疫細胞上に発現し、抗原提示細胞上の MHC クラス I 分子に結合して、免疫応答の刺激を抑制する負のシグナルを伝達します。炎症反応と細胞傷害性を制御し、免疫応答を集中させ、自己反応性を抑制すると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],ドメイン:免疫受容体チロシン阻害因子モチーフ (ITIM) と呼ばれる細胞質モチーフを 3つ含みます。このモチーフは細胞応答の調節に関与しています。リン酸化 ITIM モチーフは、いくつかの SH2 含有ホスファターゼの SH2 ドメインに結合できます。、機能:クラス I MHC 抗原の受容体です。HLA-A、HLA-B、HLA-C、および HLA-G アレルの広範囲を認識します。免疫応答のダウンレギュレーションと寛容性の発生に関与しています。クラス I MHC 抗原への結合に関して CD8A と競合します。FCGR1A を介した細胞タンパク質のリン酸化と細胞内カルシウムイオンの動員を阻害します。、PTM:チロシン残基がリン酸化されています。PTPN6 によって脱リン酸化される。、類似性: 4つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。、サブユニット: リン酸化されると PTPN6 に結合する。FCGR1A に結合する。、組織特異性: 単球および B 細胞に発現し、樹状細胞にも低レベルで発現する。ナチュラルキラー (NK) 細胞にも低レベルで検出される。、

研究分野

画像データ



CD85d ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。